



スポーツ科学部



頂をめざす勇氣



山梨学院大学

YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

山梨学院大学には、豊かなスポーツ資源があります。カレッジスポーツの振興に関わってきた優秀な指導者が多くいて、キャンパスのすぐそばにさまざまなスポーツ施設が点在しています。スポーツ科学部はこの恵まれた資源を活かし、実践知・経験知を有する教員と学問知を有する教員ががっちりスクラムを組んで、最先端の「スポーツ科学の知と技」を教育します。

スポーツは世界共通の文化です。スポーツ科学部で学ぶ知と技は、国内の競技スポーツや生涯スポーツの場だけでなく、世界においても広く役立つものです。スポーツの体験を通して養われる豊かな人間力は、スポーツ以外の場においても高く評価されます。豊かな学士力と人間力を、スポーツ科学部でぜひ身につけてください。



スポーツ科学部教授・学部長
遠藤 俊郎

「**競技スポーツコース**」と「**生涯スポーツコース**」

トップスポーツ（競技者のスポーツ）と地域スポーツ（みんなのスポーツ）との好循環システムを推進していくことのできる人材を、「競技スポーツ」と「生涯スポーツ」の2コースをベースとして育成します。



競技スポーツコース

生涯スポーツコース

国内有数の充実した教育環境の中で、「スポーツとともに生きていく力」を養います。



山梨学院大学 スポーツ科学部の特色

- 1 めざす進路や興味に応じた柔軟な科目選択が可能**
 双方向（対話）型や課題解決型の演習科目、実験・実習科目を多く開講し、社会で役立つ実践的な専門能力を強化。また、多くの授業科目を選択必修または選択にし、めざす進路や興味・関心に応じた学びが積極的にできるようにしていることも特色です。
- 2 少人数制で学修から生活、将来設計まで親身に指導**
 入学定員は1学年200人。専門教育科目の専任教員1人あたりの学生数約9人という少人数制の中で、学生と教員の意思の疎通を図りながら、1年次から学修、生活、将来設計すべての面で学生一人ひとりに寄り添う親身な指導を行います。
- 3 保健体育教員をはじめ、目標となる資格が多彩**
 スポーツ科学部では、所定の科目を履修し、単位を修得することで、中学・高等学校の保健体育の教員免許状を取得することができます。また、スポーツに関連するさまざまな資格を取得することもできます。
- 4 メダリストを育てた指導者も名を連ねる充実の教授陣**
 各種競技スポーツにおいて、わが国を代表する経験豊富な指導者や、競技・生涯スポーツに精通した研究者が教育にあたります。最先端のスポーツ科学を実践と理論の両側面から学ぶことができます。
- 5 国際規格の施設が充実。最新の教育研究棟も完備**
 スポーツ科学の教育には実習施設が欠かせません。国際的な公式試合にも使える競技施設をはじめ、キャンパス内やキャンパスの周辺に充実した施設・設備を整えています。キャンパスには先進的な教育研究棟も完備しています。

About Curriculum



4年間の学びの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
総合基礎教育科目	1～2年次に、「基幹・基礎」[人間・文化][国際・社会][環境・科学][教育・社会]の5群からなる教養科目を、幅広く選択して学びます。			
外国語教育科目	スポーツにおける国際交流の場や、スポーツ系クラブの海外遠征等の際にも利用価値が高い「英語」または「中国語」を必修として学びます。			
共通科目(基礎)	1年次の「スポーツ基礎演習」、2年次の「スポーツキャリア形成」とおして、大学・学部での学修のしかた、クラブ活動を含む大学での生活のしかた、卒業後の将来設計の立て方などを学びます。また、1～2年次にかけて、スポーツ科学の基礎知識やスポーツ技能を幅広く身につけるための科目を履修します。		外国語でコミュニケーション 1年次から2年次にかけて全学部生が外国語教育科目の「英語」または「中国語」を履修します。また、2年次から4年次にかけてキャリア形成科目の「スポーツ英語」を選択履修して、会話力や読解力をさらに高めていくこともできます。実践的な英語力を身につけて、活躍の場を広げていってください。	
コース科目(発展)	●競技スポーツコース科目群 ●生涯スポーツコース科目群 2年次から、各自の興味・関心や卒業後の将来設計と関連づけて、「競技スポーツコース」「生涯スポーツコース」に分かれて学びます。			
キャリア形成科目(応用)	●コーチング系科目群 ●競技スポーツサポート系科目群 ●生涯スポーツサポート系科目群 ●教職(保健体育)系科目群 ●スポーツ英語系科目群 2～4年次にかけて、キャリア形成(社会的・職業的自立の促進)を図るために、各自の興味・関心や卒業後の将来設計と関連のある科目を選択して学びます。			
教職専門科目	1～4年次に「中学校教諭一種免許状(保健体育)」「高等学校教諭一種免許状(保健体育)」の取得に必要な科目(教職概論・教育課程論・教育方法論・教育実習など16科目・29単位)を、卒業に要する単位(124単位)とは別に学びます。教職を目指す人には必修科目です。教員免許状を取得するには、教職専門科目のほかに、総合基礎教育科目、外国語教育科目、専門教育科目のなかで必修科目として指定された科目を履修しなければなりません。			

卒業後の想定進路 (詳しい情報は15ページに掲載しております。)

			
競技スポーツの場	競技スポーツや生涯スポーツに関わる国際的活動の場	子どもや高齢者・障がい者のスポーツの場	スポーツ関連企業の場
マネジメントスタッフ、トレーナーなど	国際的に活躍できる人	指導者、サポートスタッフなど	企業人
			
中学校・高等学校	身体能力が要求される職種	地方自治体などのスポーツ行政の場	高度の専門知識・技能を身につける場
保健体育教員など	警察官、消防官、自衛官など	公務員	大学院への進学など

専門教育科目

		1年次	2年次	3年次	4年次		
		学修のしかたや将来設計の立て方などを学びます。また、スポーツ科学の基礎知識や各種のスポーツ技能を幅広く身につけます。					
				2年次から「競技スポーツコース」と「生涯スポーツコース」に分かれて学びます。また、各自の興味・関心や卒業後の将来設計と関連のある科目を選択して学びます。			
		保健体育の教員免許状の取得を目指す学生は、専門教育科目とは別に教員免許状取得に必要な科目を履修します。					
共通科目	A群	スポーツ基礎演習	スポーツキャリア形成			必修	
	B群	スポーツ史 スポーツ心理学 スポーツ経営学 コーチング論	スポーツ哲学 スポーツ社会学 スポーツ政策論 スポーツ教育論 野外活動・教育論				
	C群	スポーツ医学 スポーツ傷害論 情報処理	スポーツ生理学 体力論 スポーツ栄養学	スポーツバイオメカニクス 機能解剖学 トレーニング論			
	D群 実技実習系	a科目群	a1(トレーニング/体づくり運動) a2(ダンス) a3(器械運動) a4(陸上競技:短距離・跳躍・投てき)	a5(陸上競技:長距離) a6(水泳・水中運動) a7(スケート)			選択必修
		b科目群	b1(バスケットボール) b2(サッカー) b3(ラグビー) b4(ホッケー)	b5(バレーボール) b6(テニス) b7(ソフトボール)			
		c科目群	c1(柔道)	c2(レスリング)	c3(空手道)		
		d科目群	d1(野外活動:キャンプ)		d2(野外活動:水辺)	d3(野外活動:雪上)	
	コース共通		スポーツ専門演習1			スポーツ専門演習2	必修
	専門教育科目	競技スポーツコース	a科目群	競技スポーツ情報戦略論 競技スポーツトレーニング論		スポーツコミュニケーション論 競技スポーツコーチング論 障がい者競技スポーツ論	
			b科目群	競技スポーツ戦術論 競技スポーツ体力論	競技スポーツ傷害論 競技スポーツ栄養論	競技スポーツ技術論 競技スポーツ心理論	トレーニング指導実習
c科目群			演習1(マネジメント) 演習2(バイオメカニクス)	演習3(ゲーム分析) 演習4(体力)	演習5(心理) 演習6(傷害)	演習7(トレーニング) 演習8(データサイエンス) 演習10(チームマネジメント)	演習9(運動の制御と学習)
生涯スポーツコース		a科目群	スポーツ文化論 スポーツビジネス論	スポーツ行政論 スポーツメディア論	スポーツプロモーション論 スポーツマネジメント論	地域スポーツ論	選択必修
		b科目群	レクリエーション論 障がい者スポーツ論	健康体力論 子どもスポーツ論	健康心理論 高齢者スポーツ論	運動処方論	
		c科目群	演習1(スポーツプロモーション) 演習2(スポーツマネジメント) 演習3(スポーツビジネス) 演習4(子どものスポーツ活動)		演習5(高齢者・要介護者のスポーツ活動) 演習6(野外活動・教育) 演習7(健康運動指導等研修) 演習8(スポーツメディア論)		
キャリア形成科目	A群	【種目別コーチング系】 演習1(陸上競技:短距離・障害) 演習2(陸上競技:長距離・駅伝) 演習3(水泳) 演習4(スケート) 演習5(バスケットボール)		演習6(サッカー) 演習7(ラグビー) 演習8(ホッケー) 演習9(バレーボール) 演習10(ソフトボール)	演習11(柔道) 演習12(レスリング) 演習13(空手道)		
	B群	【競技スポーツサポート系】 演習1(マネジメント) 演習2(バイオメカニクス)		演習3(戦術・ゲーム分析) 演習4(体力)	演習5(心理) 演習6(傷害) 演習7(チームマネジメント)		
	C群	【生涯スポーツサポート系】 演習1(スポーツプロモーション) 演習2(スポーツマーケティング) 演習3(子どもスポーツ)		演習4(高齢者スポーツ) 演習5(障がい者スポーツ) 演習6(野外活動・教育)	演習7(地域スポーツ)	選択必修	
	D群	【教職(保健体育)系】 保健体育科教育法1(体育) 介護等体験実習 体育科内容・指導論1(体育理論)		体育科内容・指導論2(体育実技) 学校保健学 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む) 保健体育科教育法2(保健)	保健体育科指導論 保健科内容・指導論 衛生学(公衆衛生学を含む)		
	E群	【スポーツ英語系】 スポーツ英語a1(会話) スポーツ英語a2(会話)		スポーツ英語a3(会話) スポーツ英語a4(会話)	スポーツ英語b1(読解) スポーツ英語b2(読解)	スポーツ英語b3(読解) スポーツ英語b4(読解)	
教職専門科目	教職に関する科目	教職概論 教育心理学 特別活動論 生徒指導・教育相談 特別支援教育概論	教育課程論 教育社会学 特別方法論 進路指導論	学校と教育の歴史 総合的な学習の時間の指導法 道徳教育指導論	教育実習研修 教育実習I 教育実習II 教職実践演習	自由	

〔コース紹介〕

About Course

専門科目のカリキュラムには、「競技スポーツコース」と「生涯スポーツコース」の各科目群が用意されています。2年次から興味・関心やめざす進路に応じた科目を選択して履修します。両コースにまたがる履修も可能です。



競技スポーツの推進者を育成する

「競技スポーツコース」

ジュニアからシニアまでの競技者(障がいを含む)の競技力の向上に貢献できる競技スポーツの推進者の育成をめざすコースです。

生涯スポーツの推進者を育成する

「生涯スポーツコース」

子どもから高齢者までの健常者、障がい者、有病者のQOL(Quality of life、生活の質)や健康体力の向上に貢献できる生涯スポーツの推進者の育成をめざすコースです。

履修モデル 競技スポーツコースで履修する「コース科目」の一例比較

A1モデル

競技スポーツの場で「指導者」として活躍を希望する人の例

- 競技スポーツコーチング論
- 競技スポーツトレーニング論
- 競技スポーツ技術論
- 競技スポーツ心理論
- 競技スポーツ戦術論
- 競技スポーツ演習(ゲーム分析)

A3モデル

競技スポーツの場で「科学的サポートスタッフ(トレーナー)」として活躍を希望する人の例

- 競技スポーツ傷害論
- 競技スポーツ栄養論
- 競技スポーツ体力論
- 競技スポーツ心理論
- 障がい者競技スポーツ論
- 競技スポーツ演習(傷害)

A4モデル

学校体育・スポーツの場でマネジメントスタッフとして活躍を希望する人の例

- 競技スポーツマネジメント論
- スポーツコミュニケーション論
- 競技スポーツデータ論
- 競技スポーツ情報戦略論
- 障がい者競技スポーツ論
- 競技スポーツ演習(マネジメント)

Voice/先輩の声



鯉池 琴美さん

出身: 山梨県立甲府西高等学校
進路: 山梨県教職員

世界的なレベルで学べる環境

スポーツ科学科は先生方、友達、後輩などいろんな分野で世界的なレベルの人たちと関わることができます。指導者のレベルを含め、ここまで環境が整っていることは少ないと思います。

競技スポーツコースには、上記の他に「A2モデル:競技スポーツの場で科学的サポートスタッフ(心技体)として活躍を希望する人」「A5モデル:学校体育・スポーツの場で「指導者」として活躍を希望する人」「A6モデル:スポーツ関連企業の中で企業人として活躍を希望する人」の履修モデルも用意しています。

履修モデル 生涯スポーツコースで履修する「コース科目」の一例比較

B1モデル

生涯スポーツの場で「指導者」として活躍を希望する人の例

- 生涯スポーツプロモーション論
- 生涯スポーツマネジメント論
- 生涯スポーツ政策論
- スポーツビジネス論
- 生涯スポーツ演習(子どものスポーツ活動)
- 生涯スポーツ演習(健康運動指導等研修)

B3モデル

生涯スポーツの場で「科学的サポートスタッフ(トレーナー)」として活躍を希望する人の例

- 健康体力論
- 健康心理論
- 高齢者スポーツ論
- 障がい者スポーツ論
- レクリエーション論
- 生涯スポーツ演習(高齢者・要介護者のスポーツ活動)

B5モデル

学校体育・スポーツの場で「指導者」として活躍を希望する人の例

- 子どもスポーツ論
- 現代スポーツ論
- 生涯スポーツプロモーション論
- 生涯スポーツ演習(スポーツプロモーション)
- 生涯スポーツ演習(子どものスポーツ活動)
- 生涯スポーツ演習(野外活動・教育)

Voice/先輩の声



宮田 佑杜さん

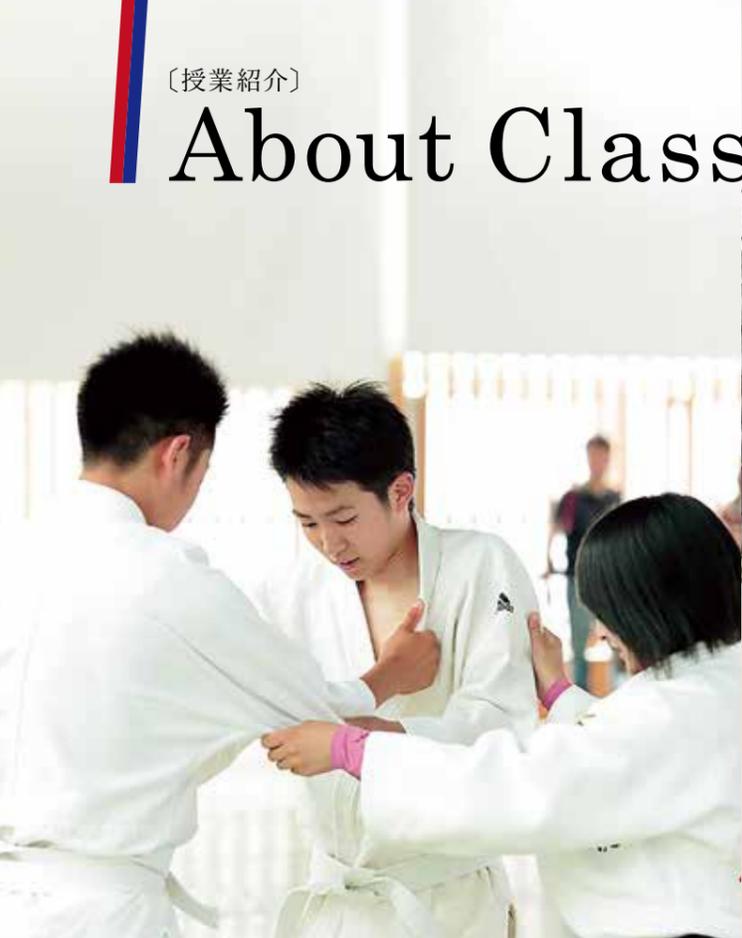
出身: 長野県下伊那農業高等学校
進路: ランナーズウェルネス

スポーツの愛好家を支える学び

地元の小学生のアスリートクラブや、高齢者のスポーツ教室のボランティアを通じて、スポーツの裾野を広げる活動に興味を持ちました。生涯スポーツ系の授業をきっかけに、スポーツイベントに関わる企業に進むことに決めました。

生涯スポーツコースには、上記の他に「B2モデル:生涯スポーツの場で科学的サポートスタッフ(心技体)として活躍を希望する人」「B4モデル:生涯スポーツの場でマネジメントスタッフとして活躍を希望する人/地方自治体等のスポーツ行政の場で公務員として活躍を希望する人」「B6モデル:スポーツ関連企業の中で企業人として活躍を希望する人」の履修モデルも用意しています。

About Class



実技を学ぶ

「共通科目」には、さまざまなスポーツの基本的技能や実践方法、指導のポイント、練習法などについて学ぶ実技実習の科目を開講しています。学生の中には、専門の種目以外は得意ではないという人もいます。それでも、「スポーツが好き」という気持ちがあれば、実技実習の授業も楽しめます。運動が苦手な人の立場になって、「どうしたらできるようになるのか」を考えながら授業が進められていくからです。

実技スポーツ授業(一部紹介)

バレーボール	水泳・水中運動	空手道
陸上競技(短距離・跳躍・投てき)	ホッケー	バスケットボール
陸上競技(長距離・駅伝)	レスリング	テニス
スケート	サッカー	ダンス
ソフトボール	ラグビー	柔道
体づくり運動	器械運動	

Voice/先輩の声



池野 みのりさん
出身：千葉県成田高等学校
進路：三重県スポーツ協会

プロ選手と同じ環境で学べる

低酸素ルームや、動作分析装置などプロの選手が測定を行うのと同じような環境になっています。オープンキャンパスに来る高校生や保護者の方には、いろんな施設を見学してほしいと思います。

理論を学ぶ

主に1年次～2年次にかけて学ぶ「共通科目(基礎)」では、スポーツに関わるさまざまな分野の基礎知識を幅広く学びます。また、2年次から4年次にかけて学ぶ「キャリア形成科目(応用)」では、「コーチング系」、「競技スポーツサポート系」、「生涯スポーツサポート系」、「教職(保健体育)系」、「スポーツ英語系」など、より専門的なスポーツ科学の知識や技能を実践的に学んでいきます。

理論を学べる授業(一部紹介)

スポーツ経営学 地域スポーツクラブ、スポーツ競技団体、商業スポーツ団体、プロスポーツクラブの経営やマネジメントの基礎知識を身につけます。	スポーツ教育論 「スポーツ」と「体育」の違い、教育の場でスポーツに求められているもの、これからの体育のあり方など、スポーツ教育の意義と可能性について学びます。	スポーツ生理学 スポーツに関与する身体の諸器官の仕組みや働きなどについて学び、科学的なトレーニングを実践するための前提となる生理学的知識を修得します。
スポーツ栄養学 五大栄養素の役割、消化吸収・代謝の過程などについて学ぶほか、生体のリズムと栄養の関係、エネルギー代謝や基礎代謝測定法などについても理解を深めます。	スポーツ医学 運動やスポーツ活動によって生じる身体的・精神的な変化、解剖学や生理学、内科的・外科的疾患についての基礎的知識、さらに生活習慣病などについても学びます。	スポーツ心理学 スポーツに関わる心理的現象を広範囲に学習します。スポーツ心理学で学んだ知識は、競技力の向上やスポーツ指導にさまざまに応用することができます。
スポーツ傷害論 スポーツ傷害の評価、応急処置と予防、コンディショニングの手法・テーピングを含めたアスレティックリハビリテーションについて実践的に学びます。	スポーツバイオメカニクス 運動を力学的に探究することで、スポーツの技術やトレーニング運動の特性などを理解し、コーチングやトレーニングに役立てることができるようにします。	コーチング論 経験と勘に頼った指導には限界があります。指導者に必要不可欠な事柄について、運動学的、運動方法学的視点から学びます。

Voice/先輩の声



玉城 文海さん
出身：沖縄県立中部商業高等学校
進路：山梨クイーンビーズ

分析で深まるスポーツへの理解

ゼミ活動で、チームスポーツの情報分析について学びました。チームの選手一人ひとりの力だけでなく、情報分析をし、戦略構築することがプロの世界では必要です。スポーツアナリストに必要な能力と知識を身につけました。



研究を深める

スポーツ科学部では、3年生になると全員がゼミ・研究室に所属し、各自の専門性を高めていきます。卒業論文の執筆を通し、1)情報収集・現状分析、2)仮説を立てる、3)データを集め、仮説を検証する、4)結果を考察するという仮説検証プロセスを経験することによって、科学的思考力を養います。自身の卒業研究を一つのプロジェクトのリーダーとして管理・運営するためには、リーダーシップを発揮することが求められます。また、仲間の卒業研究をサポートすることによって、フォロワーシップを学びます。このような経験を通じて、社会人基礎力を養います。

研究分野と研究対象

	研究分野	研究対象
人文社会系	スポーツ経営(行財政等)	国、都道府県、市町村
	スポーツビジネス	学校、地域社会
	スポーツ心理	企業
	スポーツ教育、野外活動・教育	
自然系	スポーツ生理、スポーツ栄養、体力	乳幼児、児童生徒、青年、中高年
	スポーツバイオメカニクス	健康者、競技者、障がい者、有病者
	スポーツ戦術分析	スポーツに推進にかかわるもの
運動系	コーチング/トレーニングの基礎理論	健康体力づくりにかかわるもの
	各種スポーツのマネジメント/情報戦略	競技力向上にかかわるもの
	各種スポーツのコーチング法/トレーニング法	
	コンディショニング法/リハビリテーション法	その他

Voice/先輩の声



前田 隼弥さん
出身：兵庫県立飾磨工業高等学校
進路：明治安田システム・テクノロジー

研究を通して得られた問題解決力
競技スポーツコースを選択し、バイオメカニクスなどのトレーニング科学中心の授業を履修していました。授業を通して、実験プロセスの立て方、データの作り方、プレゼンの仕方について知ることができ、問題解決力を身につけることができました。

資格取得をめざす

スポーツ科学部では、所定の科目を履修し、単位を修得することで、中学・高等学校の保健体育の教育免許状を取得することができます。また、スポーツに関わるさまざまな資格を取得することもできます。資格の取得は、それぞれの資格に関連する専門的な職業に就く場合はもちろん必要ですが、その資格に関連しない職業に就く場合であっても、資格取得の過程(目標に向かって努力できること)などが採用側から評価される場合があります。そして、何よりも資格取得という目に見える成果によって自分の自信につながると同時に、それらの資格によって大学卒業後にさまざまな道が開けてくることになるでしょう。

取得可能な資格

教員免許状	中学校教諭一種免許状(保健体育) 資格取得	高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格取得
民間資格	共通科目I・II・III* (公財)日本スポーツ協会 資格取得	健康運動指導士 (公財)健康・体力づくり事業財団 受験資格
	スポーツリーダー (公財)日本スポーツ協会 資格取得	健康運動実践指導者 (公財)健康・体力づくり事業財団 受験資格
	アシスタントマネジャー (公財)日本スポーツ協会 受験資格	トレーニング指導者 (特非)日本トレーニング指導者協会 受験資格
	ジュニアスポーツ指導員 (公財)日本スポーツ協会 受験資格	障がい者スポーツ指導員(初級・中級) (公財)日本障がい者スポーツ協会 資格取得
	水泳コーチ (公財)日本スポーツ協会 受験資格	C級コーチ (公財)日本サッカー協会 資格取得
	ホッケーコーチ (公財)日本スポーツ協会 受験資格	JPSUスポーツトレーナー (社)全国体育スポーツ系大学協議会 受験資格

*公認スポーツ指導者養成講座における共通科目I・II・IIIの講習・試験が免除されます。

保健体育の教員免許状の取得について

専門教育のキャリア形成科目の中に、「保健体育科教育法」や「体育科内容・指導論」など「教職(保健体育)系」科目群を開講しています。教員をめざす人は2年次から4年次にかけて必要な科目を履修し、また、教育の基礎理論を学ぶために別途教職課程の専門科目も履修して、所定の単位を修得します。一学年の約45%が免許取得を希望し(91/191名)、その内、約90%(84名)が免許を取得しています。(2019年度取得者データ)

Voice/先輩の声



南 夏美さん
出身：静岡県立伊豆中央高等学校
進路：函南町役場

将来、小学校のチームで指導するために
「ジュニアスポーツ指導員」の資格を取得しました。取得にあたり、スポーツコミュニケーション論や子どもスポーツ論、コーチング演習などで学んだことが役立ちました。先生が資格取得の手続き全般でサポートをしてくれたことは大きな助けになりました。



豊かな自然のなかで学ぶ

山梨学院大学は、富士山、南アルプス、八ヶ岳をはじめ、日本を代表する名山に囲まれています。スポーツ科学部では、これらの環境を生かした実践的な教育プログラムが用意されています。たとえば、南アルプスや八ヶ岳周辺での教育キャンプ、富士山を望む富士五湖でのカヌーツーリング、高原地域でのネイチャースキーなど。自然のなかで仲間とともに課題を解決していくことを通して、コミュニケーション能力、問題解決能力を育んでいきます。豊かな自然は「学び舎」であり、人生を豊かにしていくための実学の間を提供してくれるのです。



Voice/先輩の声



天野 彰斗さん
出身：山梨県立富士河口湖高等学校
進路：株式会社スノーピーク

山梨の自然の中で学ぶ

子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる野外活動。どうしたら参加者に楽しんでもらえるのか、指導者としての勉強をしました。授業で野外教育のイベントを企画する経験などが、進路にもつながりました。



地域で学ぶ

スポーツ科学部では、地域で行われるスポーツイベントにボランティアとして参加したり、スポーツイベントを授業の一環として開催するなど、地域の中でスポーツと人とのさまざまな関わり方を実践的に学ぶことにも力を入れています。教室で学んだことを地域で実践する。その実践のなかで生まれた気づきを、教室でのあらたな学びにつなげていく。そのサイクルによって、スポーツに対する幅広い見方の修得や、専門性の向上を目指します。



Voice/先輩の声



藤原 優司さん
出身：山梨県山梨学院高等学校
進路：昭和総合型地域スポーツクラブカメラ

アシスタントマネージャー取得

将来、さまざまな人がスポーツを楽しむことができ、自分に合ったスポーツを発見できる環境を作りたい。そのため、地域クラブへのインターンシップや、地域向けのイベント企画の実践などに励みました。スポーツマネジメントや経営学の授業で学んだことを理解し直す機会にもなりました。

〔教授紹介〕

About Professor

各種競技スポーツにおいてわが国を代表する経験豊富な指導者や、競技・生涯スポーツに精通した研究者が教育にあたります。最先端のスポーツ科学を実践と理論の両面から学ぶことができます。



谷口 裕美子 教授
リオデジャネイロパラリンピック
水泳競技日本選手団コーチ



高田 裕司 教授
リオデジャネイロオリンピック
日本代表選手団総監督



小山 さなえ 教授
日本体育・スポーツ経営学会 理事



麻場 一徳 教授
リオデジャネイロオリンピック
陸上競技日本代表選手団監督

遠藤 俊郎 教授・学部長

スポーツ心理学・スポーツコーチング学が専門。博士(医学)。日本スポーツ協会、日本バレーボール協会、国際バレーボール連盟、アジアバレーボール連盟などで幅広く活動。女子バレーボールアンダーエイジ日本代表チームの団長も務める。



麻場 一徳 教授

スポーツコーチング論、スポーツマネジメント論、陸上競技方法論が専門。ロンドンオリンピック女子短距離コーチ、リオデジャネイロオリンピック陸上競技日本代表選手団監督。



上田 誠仁 教授

体育学、コーチ学、陸上競技が専門。山梨学院大学陸上競技部の監督として長年チームを率いてきた。箱根駅伝総合優勝3回・準優勝4回。関東学生陸上競技連盟 駅伝対策委員長。



神田 忠彦 教授

スポーツ科学、水泳が専門。山梨学院大学水泳部監督として、夏季五輪5大会連続でオリンピック選手を輩出。国際大会の日本代表コーチも務めてきた。日本水泳連盟競泳委員。



小山 さなえ 教授

スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツ組織論などが専門。日本体育・スポーツ経営学会理事。スポーツによる社会貢献と地域振興をめざし、国民体育大会などにも関わってきた。



三本木 温 教授

体育学、スポーツ科学が専門。博士(体育科学)。健康に関連する体力や競技力向上に役立つ体力の高め方などに関する研究業績多数。ランニング学会理事。



John SHEAHAN 教授

ホッケーの競技力向上に貢献できる指導法やトレーニング法の開発に取り組んでいる。山梨学院大学女子ホッケー部監督。女子ホッケー日本代表チームコーチ、日本ホッケー協会国際部所属。



高田 裕司 教授

体育学、レスリングが専門。山梨学院大学レスリング部総監督。現役時代はレスリング競技の名実ともに第一人者であった。リオデジャネイロオリンピックでは日本代表選手団の総監督を務めた。



谷口 裕美子 教授

健康・スポーツ科学、アダプテッド・スポーツなどが専門。体育学修士、医学博士。ロンドン/リオデジャネイロパラリンピックで水泳競技日本選手団コーチを務める。日本知的障害者水泳連盟専務理事。



寺本 祐治 教授

トレーニング・コーチング、ホッケーが専門。山梨学院大学ホッケー部総監督。ホッケー日本代表のコーチや監督も務めてきた。日本ホッケー協会常務理事、日本学生ホッケー連盟副会長。



三井 勇 教授

体育科教育学、バレーボールが専門。高校教育現場での教職経験を基に、保健体育教師を希望する学生を積極的に支援している。山梨学院大学男子バレーボール部監督。



森 幸也 教授

専門分野である科学史や生物学史などに関する研究論文を多数執筆。理学修士。日本科学史学会、エントロピー学会、山梨科学アカデミーなどに所属している。



太田 涼 准教授

コーチング論、トレーニング論、陸上競技方法論などが専門。オリンピックをはじめとする多くの国際大会で日本代表選手団女子短距離コーチを務める。日本オリンピック委員会強化スタッフ。



笠野 英弘 准教授

スポーツ社会学、スポーツ組織論が専門。博士(体育科学)。スポーツ組織研究の論文や報告書を多数執筆しているほか、研究成果を還元する講演等の社会活動にも積極的に取り組んでいる。



加戸 隆司 准教授

体育科教育学、情報戦略、バレーボールが専門。高校で教員をしていた経験を活かし、教員養成に力を入れて指導している。山梨学院大学男子バレーボール部コーチ。日本バレーボール協会情報戦略ユニットメンバー。



苅山 靖 准教授

トレーニング科学、バイオメカニクス、陸上競技が専門。博士(コーチング学)。多くの論文を執筆し、所属する学会で優秀発表賞や奨励賞など数多くの賞を受賞。山梨学院大学陸上競技部のフィールドコーチ。



岸 邦彦 准教授

スポーツ傷害、アスレティックトレーニング、スポーツコンディショニングが専門。柔道の国際大会の日本チームトレーナーや競泳のJOC強化スタッフなどを務める。



中垣 浩平 准教授

体力学、トレーニング学、スポーツ生理学などが専門。博士(体育科学)。スポーツ科学の活用に力を入れている。日本オリンピック委員会や日本カヌー連盟の活動にも従事。



東山 昌央 准教授

野外教育が専門。山梨型の野外スポーツを対象に、実践能力、指導能力の育成に役立つ知見を追究している。日本サッカー協会や各地の教育委員会主催の野外研修指導にも携わっている。



安田 貢 准教授

スポーツ心理学、健康科学、バレーボールが専門。博士(医学)。競技パフォーマンスを向上させる促進要因や阻害要因について研究している。山梨学院大学女子バレーボール部監督。



矢部 哲也 准教授

スポーツ生化学が専門。予防医学の観点から生体固有である抗酸化機能の利用について探求している。全日本柔道連盟科学研究部として体力測定事業にも携わる。日本オリンピック委員会強化スタッフ(情報戦略)・医学スタッフ(柔道競技)。



飯塚 駿 特任助教

スポーツ心理学、コーチングが専門。音楽とスポーツの関係性についてスポーツ時における音楽聴取の実態とその効果などメンタルマネジメントに関するものを主とした研究に取り組んでいる。



柴田 紘希 特任助教

体育・スポーツ経営学、地域スポーツ経営論が専門。地域スポーツクラブの成長をテーマにスポーツ組織のマネジメント方法やスポーツ振興に関する政策、行政支援の在り方について研究を行っている。広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブにおける勤務経験がある。



三澤 孝康 特任助教

スポーツ心理学、コーチング、ホッケーが専門。山梨学院大学男子ホッケー部監督。日本ホッケー協会強化本部男子強化委員会委員、U21男子ジュニア日本代表コーチ。



〔どのような進路があるの?〕

About Future

就職・キャリア支援に関する
詳しい情報はこちら



「スポーツを通じて社会に貢献できる人材の育成」がスポーツ科学部の教育目標です。競技スポーツにおける競技力や運動能力、競技スポーツ・生涯スポーツにおける指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力などを養い高めることで、卒業後はスポーツに関わるさまざまな分野に活躍の場が広がっています。一般企業への就職支援はもとより、教員採用試験や公務員採用試験に向けたサポートにも力を入れています。



公務員

- 〈国家公務員〉 皇宮警察 陸上自衛隊
- 〈地方公務員〉 山梨県警察 長野県警察 愛媛県警察 福井県警察 笛吹市消防職(山梨) 春日井市消防職(愛知) 函南町役場(静岡) 三重県スポーツ協会



教職従事・進学

教員(任期付含) 15名
大学院進学 8名

※採用試験受験者の約50%が教職に従事し、約30%が教育に関わる大学院等に進学

- 〈教員〉 山梨県(高校・中学校・小学校) 長野県(特別支援) 埼玉県(中学校) 北海道(小学校) 和歌山県(中学校) 島根県出雲高等学校(私立) 愛知産業大学工業高等学校(私立)他
- 〈進学〉 筑波大学大学院 山梨大学教職大学院 上越教育大学大学院



スポーツ関連企業

民間企業就職希望者の約30%がスポーツ・健康系企業に就職。

- ブーマジャパン ドームユナイテッド ゴールドジム スノーピーク モンベル
- ICI石井スポーツ ブルーアースジャパン シミズオクト ランナーズ・ウェルネス アールビーズ

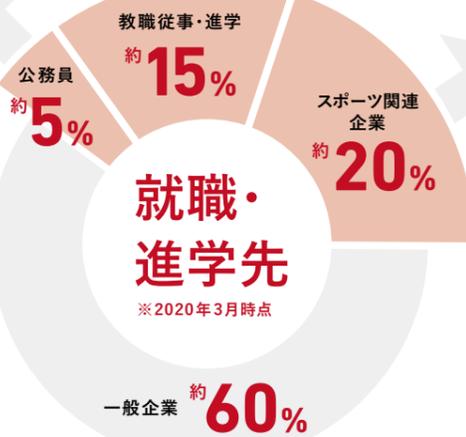


一般企業

- 山日YBSグループ 甲府信用金庫 JAふえふき JAフルーツ山梨 ネットヨタ甲斐 ネットヨタ山梨 日本ネットワークサービス 積水ハウス 三井不動産リアルティ コカ・コーラ ボトラーズジャパン 明治安田システム・テクノロジー 清水建設 リクルートライフスタイル
- リコー 大塚商会 九州旅客鉄道 富士トヨタ TBCグループ 東建コーポレーション ヤマト運輸 大樹生命 静岡マツダ 日本郵便 パーソルキャリア 住友不動産販売 JTB商事

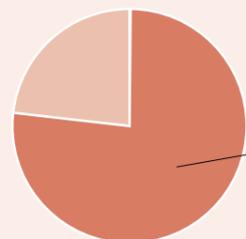
就職・進学先

※2020年3月時点



スポーツ科学部卒業生の採用意向調査

(600の企業・団体からの回答)



76.8%
(461の企業・団体)
「採用したいと思う」

スポーツを通じて培われる能力、人格への企業・団体からの期待は非常に高いものがあります。

〔先輩の声〕

Voice

興味のある分野は率先して学ぶべき

風通しの良い学部

スポーツ科学部は、先生と学生との距離が近く、授業での疑問点やわからないことを気軽に聞くことができ、非常に風通しの良い環境でした。この学部では、たくさんの分野について学ぶことができます。開講科目は、「生理学」や「バイオメカニクス」というような理系分野、「経営学」や「心理学」というような文系分野、その他にも「障がい者スポーツ」や「栄養学」というように、幅広いものです。学年が上がるにつれ専門性が増すため、1、2年生の時に興味のある分野を率先して勉強するとよいと思います。3年での「スポーツ専門演習1」は、研究や実験に没頭できる環境であるため、自分のやりたいことを選択するとよいでしょう。

所属し、研究を行っていました。ゼミでの活動がきっかけとなり、「進学」という進路が開かれてきました。大学院進学を目指している人は、先生たちの論文を読むなど、行きたい研究室の情報の収集をしっかり行うとよいでしょう。大学3年生の12月に、筑波大学で開催された研究会に参加しました。そこで行きたい研究室の先生と出会えたので、声をかけ、連絡先を交換しました。その後、イベントや実験の時に、見学に来ないかと誘われるようになりました。論文を読んで研究室で行っている研究を知ること、実際に研究室にいる人と繋がるのが、とても大事なことだとわかりました。また、英語の試験もあるため、英語の勉強もする必要もありました。



清水 千尋さん

出身：長野県塩尻志学館高等学校
進路：筑波大学大学院

すのではなく、その時に熱中できることを探すと良いと思います。また、海外へ勉強目的で行くなども、大学生である今しかできないことなので、いろんなことに挑戦し、視野を広げることも大切でしょう。3年生は、就活や進学のための勉強など、大事な時期です。勉強するときは勉強する、遊ぶときは遊ぶと、気持ちを切り替えて生活をし、後悔のないように大学生活を送ってください。

大学生だからこそできる学びを

私は、外部で野球を続けていました。夜に練習があり、練習のない日はアルバイトをしていました。大学での授業、自分の研究、野球の練習、アルバイト。これらを両立させる生活が送れるように心がけました。練習で疲れて授業中に寝るというようなことなく、集中して勉学に臨むことができました。空きコマや休みの日などの空いている時間を、何もせず過



大学院への進学を目指す

大学院への進学を決めたのは、大学3年生のときでした。本格的な勉強を始めたのは春休みからですが、それ以前に空いている時間を活用し、興味のある分野の研究論文を読んでいました。また、「スポーツ専門演習」では、トレーニング科学分野のゼミに

学びが競技に、将来にもつながる

幅広く学べる場所

スポーツ科学部では、「スポーツ生理学」「スポーツ医学」など、スポーツについて幅広く学ぶことができます。私は障がい者スポーツに興味があり、スポーツ科学部を選んだため、「スポーツ専門演習」では、障がい者スポーツのゼミを選択しました。ゼミ活動では、ブラインド卓球やポッチャを体験し、また障がい者の方と触れ合い、さらに障がい者スポーツ大会のボランティアにも参加し、より深く学ぶことができました。

スポーツ科学部の特徴として、先生と学生との距離が近いことが挙げられます。気軽に相談がしやすいため、知識と経験の豊富な先生方に、たくさん質問をすると思います。

学びを競技実践に結びつける

私は陸上競技部に所属していたので、部活に関係のある「スポーツ栄養学」や「スポーツ心理学」を履修しました。「スポーツ栄養学」では、食事のバランスや、食事と運動の関係性について学び、それを自分の食事にも取り入れました。以前は貧血がひど

く、怪我をよくしていたのですが、授業で学んだことを実践したところ、怪我をすることが減り、筋肉が付きやすくなりました。大学で学んだことを自分の競技生活に生かすことができるので、競技を続ける人は部活のことを考えた授業を履修すると良いと思います。

就職先は、トレーナー関係の仕事なので、「スポーツ傷害論」「競技スポーツトレーニング論」の授業で学んだことが役に立ちそうです。学んだことはいろんなところに応用できるので、普段の授業はしっかりと受けるべきだと思います。

自分のやりたいことをやる

履修を決めるにあたっては、友達がいるからという理由ではなく、興味のあること、自分のやりたいことを基準にして、選択をするべきだと思います。また、資格の取れる授業もあるため、その点も考えて授業を選ぶことが大事でしょう。

3年生になると就職活動が始まりますが、強化部に所属している学生は、部活との両立が大変になると思います。しかし、就職活動をしないと、競技に集中することもできません。練習時間をずらし、午前中



斎藤 莉奈さん

出身：山梨県立桂高等学校
進路：ツル虎ノ門病院メディカルフィットネス プラナー

に就活を行う、というような工夫をすると、動きやすいのではないのでしょうか。自己分析をしっかりと行い、インターンシップへ行き、業界研究や職業研究をし、就職活動に臨むのがベストだと思います。



〔どんな学生がいるの?〕

About Students

スポーツ科学部には、全国各地からスポーツに関心のある高校生が集まっています。学内のクラブやサークルに所属する学生、大学から新たなことに取り組む学生、学外のクラブやスポーツボランティア活動を軸に活動する学生など、さまざまです。ここでは在学生や卒業生のメッセージから、彼らがどのような学生生活を送り、そして“やりがい”と出会っているかを紹介します。メッセージの詳細内容はスポーツ科学部のホームページにてご覧ください。



平松 夕佳さん
愛知県・旭野高等学校出身
先生方からの貴重な情報やアドバイスのおかげで学生生活がさらに充実しました。



千葉 雪乃さん
山梨県・山梨学院高等学校出身
オリンピックで監督やコーチを務めた先生もいます。授業中だけでなく、授業以外の時間にもコミュニケーションしながらの学びがあります。



橋本 冬威さん
静岡県・浜松開誠館高等学校出身
部活と勉強で忙しい毎日を送っています。「生涯スポーツコース」の科目を中心に履修しています。



鈴木 勝治さん
茨城県・多賀高等学校出身
スポーツにずっと関わっていきたい。そのために競技スポーツと生涯スポーツ、両コースの授業を履修しています。

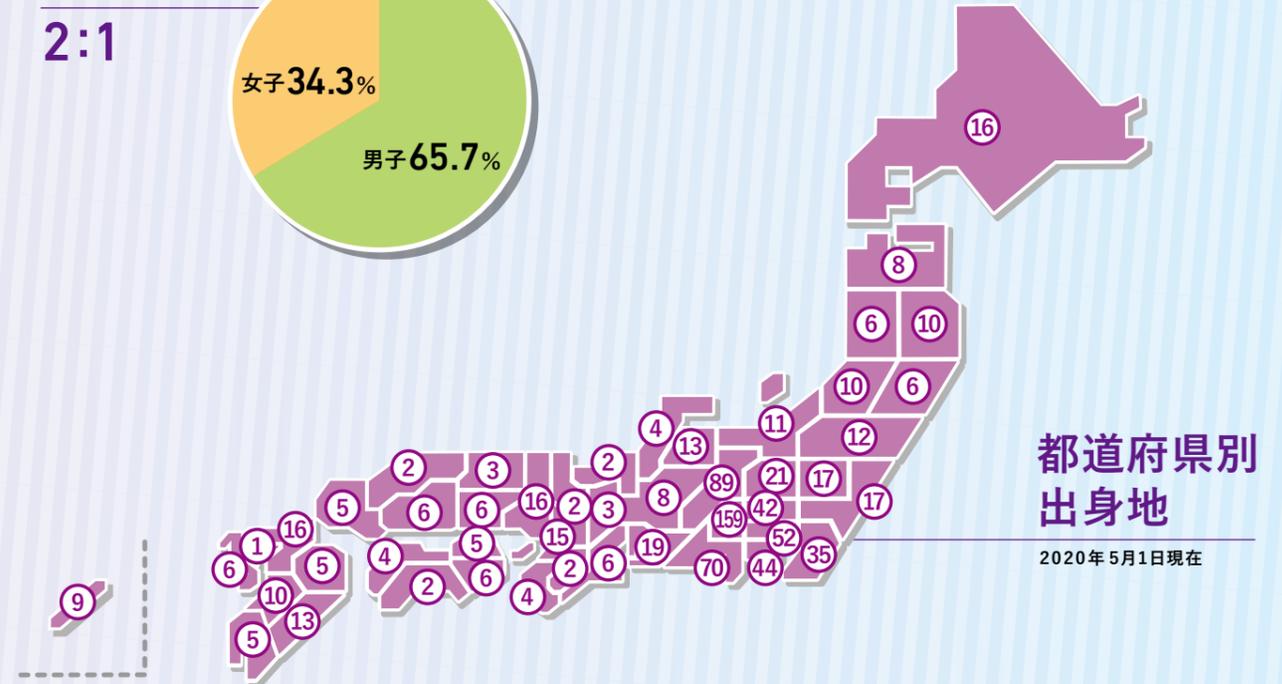


黒岩 麻衣さん
群馬県・吾妻高等学校出身
キャンプ、カヌー、スキー……山梨の豊かな自然環境の中で行われるアウトドアスポーツの学びもあります。



岡本 駿さん
福岡県・筑陽学園高等学校出身
九州出身です。トップレベルの環境でスポーツと学びに打ち込みたいと思い山梨学院にきました。アットホームな学部の雰囲気も気に入っています。

男女比
2:1



都道府県別
出身地

2020年5月1日現在



日向 琴乃さん
山梨県・山梨学院高等学校出身
「する・見る・支える」といろんなスポーツの場で考え方を先生や友達だけでなく、後輩とも共有でき同じ空間で同じ意識の中で生活できます。



吉田 翔一さん
埼玉県・朝霞西高等学校出身
ボランティアをしたりインターンシップに取り組んだり、自由な時間を活かして課外の時間も充実した学生生活を送っています。

Webサイトでも
学生たちの声を配信中!

幅広く学んで、人々の健康を支える人になりたい

樋川 歩実さん

スポーツ科学部 スポーツ科学科 2年 (山梨県・都留高等学校出身)

将来は、健康運動指導士として年代を問わず運動面から人々の健康を支える人になりたいです。そのために、自宅から通うことができ、時間を有効的に使いながら、取りたい資格がとれる本学に入学を決めました。トップアスリートや日本代表選手を指導している先生方から実技の授業が受けられることも大きな魅力です。スポーツ科学部では、充実した施設での実践的な学び、理論の学び、資格を取得するための学び、野外での学び、地域での学びなど多彩な学びが用意されています。スポーツに関わる様々な視点からの学びを通してスポーツに対する視野が大きく広がってきました。また、同級生の中にも大きな夢や目標を持っている仲間がたくさんいて、私自身も良い刺激を受け、ボランティア活動や部活動に積極的に携わり、いろんなことにチャレンジしよう、という気持ちで学生生活を送っています。



いろんな人とふれあい、いろんなことを体験しながら中身の濃い学生生活を送っています。

竹田 諒平さん

スポーツ科学部 スポーツ科学科 2年 (長野県・大町岳陽高等学校出身)

高校までは野球中心の生活でした。スポーツ科学部に入学してからは、高校までにはできなかったいろんな体験をしています。地域のクラブチームで野球を続ける一方、学内のソフトボールのクラブにも入って、地域の人たちや他学部の人たちとも一緒にスポーツを楽しんでいます。バイトも2件掛け持ちしています。教員志望であることから、1件は塾でのバイト。子どもたちとの接し方の勉強になればと思い、2年前から続けています。学部では後輩のキャンプ実習に補助学生として参加させてもらっているので、同学年だけでなく、後輩たちとのコミュニケーションも良好です。先日は学部の仲間とプライベートでキャンプを楽しむことができました。こんなに中身の濃い生活が送れるとは、入学前には想像もしていませんでした。入学して本当に良かったと思っています。



INSTITUTE OF SPORT SCIENCE



▲多目的実習室



About Facility 施設紹介

「国際規格」の競技施設をはじめ、全国でも有数の充実したスポーツ施設が、キャンパスのまわりに集中的に配置されています。

トップアスリートの育成を支えてきた充実の施設群、それがすべてスポーツ科学部の教育施設として活用されます。スポーツ科学部の教育研究棟をはじめ山梨学院大学のスポーツ関連施設はすべてキャンパス周辺に配置されていますので、利便性が高いのも特徴です。



▲トレーニング実習室



▲低酸素ルーム



▲スポーツサイエンスラゴ

スポーツサイエンスラゴは2020年3月にオープンしました。リハビリテーションルーム、過流浴ルーム、トレーニングルームなど、現場で実際に使用する器具を備えています。強化育成クラブの選手も利用しており、学生トレーナーとしてチーム、選手のサポートをすることで、より実践的に学ぶことのできる環境となっています。



▼スポーツ科学部棟(教育研究棟)



▲和戸サッカー場



▲和戸第2サッカー場

▲和戸富士見サッカー場

本学のスポーツ施設は、すべてキャンパス周辺に配置され、多くが城東バイパス沿いに位置することから、「城東スポーツヤード」と称されるエリアの中にあります。その一角にある「和戸富士見サッカー場」は、フィールド寸法が93.0m×68.0m、ピッチはゴムチップと砂が入ったロングパイル人工芝仕様。ナイター練習用に16灯×4基の夜間照明が完備されています。隣接地に「和戸サッカー場」「和戸第2サッカー場」もあります。

▼シドニー記念水泳場

シドニーオリンピックでの萩原智子選手の功績を称え建設された短水路屋内プールです。ロンドンオリンピックで3個のメダルを獲得した鈴木聡美選手など、ここから多くのオリンピック出場選手が誕生しています。2階には116席の観客席も完備。ガラス張りで開放感にあふれ、斬新な明るい造りとなっています。1階には競技風景の特大大パネルを掲げたロビーがあります。その個性的なデザインが目され、2つの建築賞(平成15年山梨県建築文化賞一般建築物等の部門/平成15年東京建築賞最優秀賞)を受賞しています。



▼ホッケースタジアム

鮮やかな青が美しい全面人工芝のホッケー専用スタジアムです。メインとサブの2つのグラウンドで構成され、特別室やロッカールーム(シャワー室付)を完備。約200名を収容する観客スタンドも設置。日本オリンピック委員会(JOC)強化センターの認定施設となっています。





古屋記念堂
 学園の創立者の名を冠したドーム型の施設です。県内でも屈指の広さを持ち、国際的なスポーツ大会にも使用されました。ちなみに、プロボクシングの元世界チャンピオン・具志堅用高選手はここで世界タイトルを獲得。その後改修を行い、バスケットボールをはじめとする球技やイベントに使用できる多目的施設として生まれ変わりました。



陸上競技場 (川田「未来の森」運動公園内)
 川田「未来の森」運動公園内にある全天候型公認陸上競技場です。400mトラック6レーンはウレタン舗装を採用。トラック内側には天然芝を張り、インフィールド競技に対応しています。クラブルームやロッカールームも併設され、1周約1kmの練習走路も競技場を取り巻くように造られています。

▼横根テニス場

全面ハードコートでナイター設備も備わっています。国際テニス連盟(ITF)公認の国際大会(甲府国際オープンテニス)の会場にもなっています。



▼和戸ラグビー場

フィールド全面にロングパイル人工芝が施されたラグビースタジアム。140m×68m(ゴール間100m)の広さがあり、観覧席(160席)も設置。クラブハウスにはウエイトトレーニング施設やミーティングルームがあります。



▼樹徳館 柔道場

樹徳館の1階と2階にあり、144畳のスペースがある1階を女子柔道場、340畳の2階を男子柔道場として使用しています。国際的な公式試合にも使用可能です。



▼硬式野球場 (川田「未来の森」運動公園内)

川田「未来の森」運動公園内にある野球場です。両翼95m、センター120m。ナイター設備完備で、全面ロングパイル人工芝を採用しています。ピッチングが6レーンと内野がすっぽり入るバッティング練習場を備えた屋内練習場が併設されています。



▼樹徳館 空手道場

樹徳館の2階には空手道場があります。館内には更衣室・シャワー室・師範室等が設置されています。



▼砂田ツインソフトボール場

二つの球場があり、共にバックネット裏に観客席を持つ夜間照明付きソフトボール専用球場です。山梨県では初の公式戦仕様の球場。2008年にオープンした新しい球場は、両翼・センター共に66.26m、内野は透水性に優れた混合土、外野は人工芝。クラブハウスや屋内練習場などが隣接して完備されています。



▼樹徳館 レスリング場

樹徳館の1階にあるレスリング場は国際規格に対応した広さがあり、国際的な公式試合にも使用することができます。ここから幾多のチャンピオンが誕生しています。



▼横根ゴルフ練習場

ティーショットだけでなく、バンカーショットやアプローチ、バターなどの練習ができるように設計されています。ナイター設備も完備。山梨県内12の協力ゴルフコースでラウンドすることもできます。



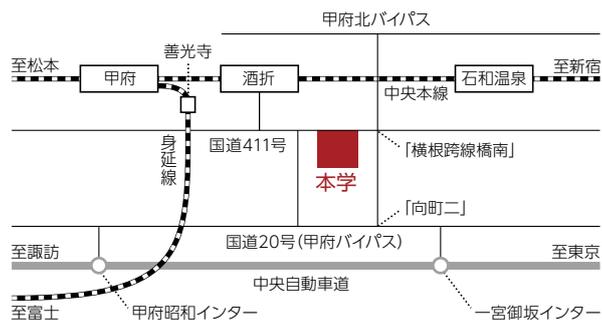


頂をめざす勇氣

山梨学院大学

YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

〒400-8575 山梨県甲府市酒折2-4-5



- JR中央本線「酒折」駅下車、徒歩3分
- JR身延線「善光寺」駅下車、徒歩12分
- 中央高速バス(新宿=甲府線)「山梨学院大学」下車
(高速バスは新宿駅南口「バスタ新宿」発着となります)

<https://www.ygu.ac.jp>



スポーツ科学部
サイト



山梨学院大学 高校生・
受験生向けサイト



スポーツ科学部
Instagram



スポーツ科学部
Twitter

お問い合わせ

入試センター

TEL.055-224-1234 FAX.055-224-1380

admission@ygu.ac.jp



山梨学院大学は、スポーツの分野において、
下記の賞を受賞しています。

2004

JOCスポーツ賞「トップアスリートサポート賞 優秀団体賞」受賞

スポーツの文化価値を高めるためにカレッジスポーツを振興
物資と人材面において大学をあげてバックアップしている業績に対して

2010 2013 2017

文部科学省「スポーツ功労団体表彰」受賞

世界的規模の競技大会で優れた成績を取った選手を
長きにわたり支援したとして

